

別記
第3号様式

京都府教育委員会教育長 様

令和 5年 3月8日

コミュニティ名 小・中・高をつなぐ国語科実践力向上コミュニティ
代表者所属名 宇治市立南宇治中学校
代表者職・氏名 杉山 瑞葵

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

1 コミュニティ名

小・中・高をつなぐ国語科実践力向上コミュニティ

2 研究テーマ

指導と評価の一体化を踏まえた問題解決型の単元構想についての研究
～主体的・対話的で深い学びが展開される授業へ～

3 研究の目的

- 国語科における学習指導要領並びに新しい評価の在り方を具現化した単元構想・実践に取り組み、指導力の向上を図る。
- 他校種の実践から学び、授業実践力の向上に活かす。

4 研究の成果と課題

登録しているメンバーは5人ですが、メンバーが誘い合う中で登録していないメンバーが集う回もあり、広く交流ができた。特に高等学校では、令和4年度から年次進行で新学習指導要領の実施と新しい評価の導入の問題があり、気軽に悩みを交流したり質問をしたりする場が求められているため、貴重な場となった。中学校での実践も参考に高等学校とも共有でき、中学校の評価を含めた単元構想についても見直し、次回に向けてブラッシュアップすることができた。

今年度は中教研国語部宇治支部の研究授業をコミュニティのメンバーが行うため、内容の検討、実践、授業参観をコミュニティで行った。「和歌」の単元を「主体的・対話的・深い学び」と「指導と評価の一体化」の視点で考え、別の学校で先行実践をし、それを参考に当日研究授業の実践と、コミュニティのメンバーで授業参観を行った。また、その単元の授業を別のメンバーも実践するなど、コミュニティで目指す授

業について多角的に深く検討することができた。コミュニティの事業があるから、高等学校の教諭や他市（町）の教員が同じ課題意識や視点で授業参観ができて大変有意義であった。学校段階間の接続が必要であると言われているが、実践者レベルでの交流はなかなか進んでいない現状があるため、非常によい機会であった。

「指導と評価の一体化」の視点で、単元構想をしてきたが、併せて定期テスト問題についても課題が大きいと感じているため、機会を捉えて交流・検討してきた。授業が変わるに連動してテスト問題の在り方も変わることが必要だと考える。この点については、評価の視点について、生徒との共有が必要であり、引き続き考えていきたい課題であると考えている。

5 研究成果の波及方法

今年度の内容は、研究会等を通して発表、波及する予定。

6 研究（活動）実績*

年月	研究（活動）内容（具体的に記載）	活動場所
6月11日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ●顔合わせ ●令和3年度の成果の報告・交流 ●学年ごとに実践したい内容の構想 	京都府総合教育センター
8月6日(土) 7日(日)	●日本国語教育学会全国大会（オンライン）の参加	
8月19日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校3年生「和歌」の単元についての相談 ●高等学校「話すこと・聞くこと」における実践報告 ●定期テスト問題作成に関する交流・検討 	京都府総合教育センター
10月8日(土)	●黄檗中学校における「和歌」の単元の先行実践報告（授業者：杉山教諭）	京都府総合教育センター
10月26日(水)	●西宇治中学校での研究授業参観（授業者：横山教諭）	宇治市立西宇治中学校
12月17日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ●研究授業参観の振り返り ●全国高等学校国語教育研究大会の参加報告 	京都府総合教育センター
2月12日(日)	●中学校(第1学年～第3学年)、高等学校「現代の国語」における「話すこと・聞く	京都府総合教育センター

	こと」の授業アイデアの提案・共有 ●参加者から実践の振り返り ●まとめの感想・交流	
--	---	--